

心も体も元気な岡村っ子



おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子

11月

横浜市立岡村小学校・学校だより R4.10.31 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

岡村小学校で検索

岡村小学校 Version 4.11 少しずつでも 精度を上げる

副校長 船山 道太

季節は、すっかり秋です。肌寒さを感じるほどになりました。皆様におかれましては、風邪などを召されませぬよう元気にお過ごしになることを心から願っております。

さて、時期は少し戻りますが、今年も暑い夏でした。毎年のことですが、今年度も熱中症が心配されました。岡村小学校では、教職員に相談して、校庭に WBGT 計を設置し、カラーのコーンを置くことにしました。天気情報を「見える化」するためです。赤色のコーンは WBGT35℃以上「危険」を表すようにしました。この場合、原則運動はできませんので、外遊びもできないこととなります。赤色の他には、オレンジ色、黄色、水色があり、それぞれ行動の基準を決めました。子どもたちは、教室から校庭の中央に置かれたコーンの色を確認して、外遊びができるかどうか、遊べる時間はどれぐらいか、などを判断し、行動に移すこととなります。オレンジ色のコーンは、WBGT31℃以上「厳重警戒」の印です。この場合、外遊びは禁止ではなく、ガイドラインをもとに、15分間としました。教室で水分を補給して、帽子をかぶって、校庭に出てくるという約束もありました。ある日（オレンジ色のコーン）のこと、不思議なことが起こりました。この日は、外遊びができる時間は、通常の半分の時間です。外遊びを打ち切りにするという事は、子どもたちにとって、とても、難しいことのように思っていました。しかしながらです。子どもたちが、校舎に戻り始めます。どんどん、どんどん、帰り始めました。休み時間が開始して15分後には、校庭に子どもの姿は見られなくなりました。健康被害を出さないためにと、放送をして、子どもたちに校舎に戻ることを伝えようと待っていた私は、放送をすることはありませんでした。この光景は、今も忘れられません。子どもたちの安全を守るは、教職員の務め、子どもたちが自分たちの安全を自ら守るよう努めさせるようにするのも、私たちの務めと思っています。教職員の努力と子どもの努力が望ましい行動として現れたこと、うれしかったです。また、校舎、校庭の怪我の原因になる可能性のあるものへの手入れ、こういうことにも気をつけています。少しでも、少しずつでも、改良、改善、工夫をして、物もシステムも環境も、マイナーチェンジをして安全な学び場を維持していきたいです。慣れには、注意ということがあります。新しい情報、保護者・地域の声に積極的に耳を傾けていきます。

令和2、3年度は、校庭での引き取り下校訓練、全校遠足での出発・到着を除くと、子どもたちが、全校で集まるという機会はありませんでした。朝会は、校内放送、活動は、分散。授業参観も、重点研究の参観のみでした。しかし、この9月に授業参観、10月にも授業参観を実施することが叶い、前期の終業式では、2年半ぶりに体育館に全校児童が集合しました。間隔を空けるための目安のテープを結んだロープを縦横に渡し、6年生が、校舎のポイント、ポイントに立ち、移動する下級生が、静かに、また、厳粛な雰囲気をつくるための支援をしました。静かな式場で、1、2、3年生は、初めての、4、5、6年生は、久しぶりの厳粛な空気を肌で感じる事ができました。一堂に会し、上級生のつくり出す雰囲気を、下級生が感じ取り、緊張しているように見えました。後期始業式、また、毎週の朝会も、体育館で、全校児童が集まって、行っています。これからも、子どもたちにとって価値のある教育活動を、今後も取り戻していきたいと考えています。

ここ2年、本部の活動にとどめていらしたPTA活動も、今年度は、各委員会が再開し、委員さんが、活動をされています。スクールゾーン安全対策協議会の働きかけで、磯子警察署からの協力を得ることができています。ありがたいことです。地域の皆様におかれましても、子どもたちのためにお力添えをお願いできるよう、徐々に準備を進めてまいります。引き続き、岡村小学校を見守ってください。